

日本で初めての「山羊ミルク」スイーツ専門店。
山羊ミルクで日本をシェアせにしたい！
日本で初めての山羊スイーツをゼロから
スタートし、宮古市に新たな価値を創造する。

シェア乳業 株式会社

- 代表者名 代表取締役 佐藤 力
- 所在地 〒027-0361 岩手県宮古市田老小堀内19-15
- 会社HP <http://www.shiawase-farm.co.jp/>

1. クラウドファンディングで ブランド認知アップ成功！

舞台は本州最東端の岬のある岩手県宮古市。2021年8月三陸鉄道にイボンヌ列車の運行がスタートした。仕掛けるのはシェア乳業株式会社。イボンヌはシェア乳業株式会社が経営する洋菓子店PÂTISSERIE LAIT DE CHÈVRE（パティスリー・レ・ゾ・シェーブル）のメインキャラクターである。この企画はMAKUAKEでサポーターを募集し328人、472万円の支援を受けて実現した。

イボンヌ列車は2021年8月から2022年3月まで宮古駅から田野畑駅までの往復を限定日で運行される。人気のイボンヌ駅長が出迎え、イボンヌ列車目当てに宮古への来訪者は激増しているという。

2. 世の中にないものを作ろう！

「うしのしあわせ」、「みんなのしあわせ」、「おいしいしあわせ」をモットーに代表取締役の



クラウドファンディングで実現したラッピング列車



イボンヌ駅長

佐藤 力氏が2008年にスタートしたシェア乳業株式会社は、自然放牧にこだわり、24時間365日牛舎を使わず、自然の草木、牧草を主体に牛を飼育している。ストレスフリーの牛から絞った牛乳や生クリーム。バター等はまるやかでコクが深く牛乳本来の味わいがあり、スイーツ専門店やホテルから高い評価を得ている。

新たな転機が訪れたのは2017年。

会社の出資者でオーナーである前田氏が牧場で飼おうとロバを買いに行ったときに売り手の意向でつがいのヤギがセットで付いてきた。

翌年そのヤ



ストレスフリーのヤギたち



代表取締役 佐藤 力氏

ギが子供を産み、ヤギのミルクを初めて飲んでみて、その美味しさに感動。この時、当時どこにもなかったヤギミルクとヤギミルクスイーツの新規事業の構想をひらめいた。ヤギミルクのスイーツはまだ、世の中にない！

その後、ヤギミルクプリン、ヨーグルト、シュークリーム、クッキー、バターケーキ、チーズケーキ等を開発していった。独特の風味のあるヤギミルクを美味しいと感じてもらえるように、改良を重ねた。

一方、2018年に100頭からスタートしたヤギは毎年増え続け2021年には600頭に増え、2022年には1,000頭になる予定。原材料のヤギミルクの調達背景は整った。

オーナーの前田氏も代表取締役の佐藤氏も県外出身だが、海と山に囲まれた宮古市の魅力にすっかり取りつかれた移住組。震災後は特に、宮古市のお役に立ちたいという気持ちがとても強くなった。宮古市に人を呼ぶ新しい名物を自分たちが作ろうと思った。

3. ヤギミルク製品のブランディング作戦

2019年3月宮古駅前にヤギミルクスイーツの洋菓子店洋菓子店PÂTISSERIE LAIT DE CHÈVRE（パティスリー レ・ド・シェーブル）がオープンした。さらに、カフェ併設のベーカリーショップBOULANGERIE DE CHÈVRE（ブーランジェリー レ・ド・シェーブル）もオープン。まずは、宮古市民に愛されるブランドにし、日本各地にヤギミルクスイーツとパンを広めよう！そして、宮古駅の店舗を目的に全国の人びとが来てくれるお店を作ろう！人目を惹くパリっぴい真っ赤な外観にメインキャラのイボンヌ。ヤギミルクスイーツという新しい切り口のスイーツ店は、地元で愛され、商品がすぐに完売することも多いという。

ちょっといじわるな視線のヤギのイボンヌは人気キャラに育っていった。

2020年から、首都圏をはじめとする全国の百貨店催事などに出展し、ヤギミルクスイーツを



パティスリーレ・ド・シェーブル



プレミアムチーズケーキ

実際食べていただく機会を増やし、商品のファンづくりを目指した。

催事販売では、シュークリームにカスタードクリームを入れる実演販売を核に、ヤギミルクスイーツと店舗で品揃えしているメインキャラクターのイボンヌの雑貨類（バッグ、マグ、Tシャツ等）も一緒に展開する。イボンヌが人気になると雑貨もよく売れるようになった。

一方、2021年3月「マツコ&有吉 かりそめ天国」に「ヤギミルククリームパン」が紹介され、クリームパンが一気に有名になり、宮古でスタートしたヤギミルク専門店の認知が全国的に広がった。

結果としてメディアに取り上げられたこともあり、冒頭の三陸鉄道のイボンヌ列車の運行に。多くのサポーターを集めることができた。この列車の車内ではヤギミルクのスイーツが食べ放題。運行日には全国から来たファンが店に行列をつくる。

4. さらなる飛躍を目指して！

2022年には製造工場を新設する計画がある。これまで大手企業からのオファーがあるものの、工場の規格が整っていない、取引が難しかった課題がやっと解決する。そして、いよいよ都心に直営店をオープンする予定である。また、盛岡から宮古に入るもう一つの交通手段であるバスにイボンヌバスの運行も決まった。

イボンヌに夢を乗せて、宮古のヤギミルク事業は確実に成長している。しあわせ乳製株式会社は、社名どおりヤギミルクでしあわせを届けたいと考えている。



ブーランジェリーレ・ド・シェーブル



半年待ちのクリームパン

中小機構
支援事例
検索はコチラ



https://www.smrj.go.jp/research_case/case/index.html

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
経営支援部 中小企業支援アドバイザー 植田 尚子